

# 登録セキスへの 維持費を徹底解説

3年 15万円の内訳と節約術 5選

登録費・講習費の全内訳とみなし受講で最安 8万円の実現法



結局いくらかかるんでしょか？

3年分の全内訳を今すぐ説明する





# セキュリティプロ・フリーランス

登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



## フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



## キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

# ● 維持費の3本柱と費用の全体像



## 初回登録費（1回のみ）

登録手数料＋登録免許税＋住民票で約2万円。更新時は不要



## オンライン講習（毎年）

年2万円・約6時間のeラーニング。3年で計6万円の固定費



## 実践講習（3年に1回）

IPA 実践講習8万円または特定講習5.5万円～。最大の節約ポイント

最安約13.5万円～標準約16万円（みなし受講なら約8万円）

# ● 3年間の維持費シミュレーション

## 最安パターン

### 特定講習を選んだ場合

- ・登録費：約2万円
- ・オンライン講習：6万円（2万×3）
- ・特定講習：5.5万円
- ・合計：約13.5万円

VS

## 標準パターン

### IPA 実践講習を選んだ場合

- ・登録費：約2万円
- ・オンライン講習：6万円（2万×3）
- ・IPA 実践講習：8万円
- ・合計：約16万円



節約の核心

みなし受講制度が適用なら3年で約8万円まで圧縮可能

# ● 維持費が「高い」と言われる 3つの理由



## 義務講習の金銭負担

法律で義務づけられた講習のため毎年必ず 2 万円が発生する



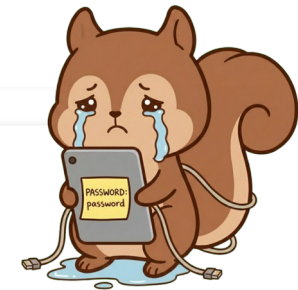
## 時間コストの二重負担

3 年で約 20 時間以上を講習に充てる。業務外対応が多く疲弊感も



## 全額自腹かどうかの差

会社補助ありなら実質ゼロ。自腹だと 3 年 15 万円が丸ごと手出し



金額・時間・帰属先の 3 軸が重なると「高い」体感が増幅される

# ● 他の IT ・セキュリティ資格との維持費比較



国際資格（CISSP・CISM）

年約 2 万円で CPE 取得が条件。登録セキスペと費用感は同水準



国内資格（基本・応用情報）

更新不要・維持費ゼロ。比較すると登録セキスペは割高に映る



本質的な差

「義務講習が法律に基づく」点が他資格にない登録セキスペ固有の特徴

# ● 維持費を抑える節約術 5 選

1

## 特定講習を選ぶ

IPA 実践講習より最大 2.5 万円安い民間特定講習を活用する

2

## 資格手当を活用

会社の補助制度を確認・交渉して実質負担をゼロにする

3

## 経費計上する

個人事業主は研修費計上、給与所得者は特定支出控除を活用

4

## 早期受講で管理

更新漏れ→消除→再登録コスト約 2 万円を未然に防ぐ

5

## みなし受講を確認

実務経験要件を満たせば実践講習免除で年 2 万円の維持が可能



# ● みなし受講制度で維持費を最小化する



対象者の条件

実務経験 2 年以上の登録者が対象。IPA で要件の事前確認が必要



費用削減の効果

実践講習免除で 3 年約 8 万円。年換算 2 万円で CISSP と同水準



制度の本質

対象者かどうかで 3 年間に数万円の差が生まれる。まず IPA で確認を

# ● 維持費の元が取れる人・取れない人

## 元が取れる人

### 資格がキャリアに直結する

- ・セキュリティ業務に現在従事
- ・転職・独立を視野に入れている
- ・官公庁・大企業案件に関わる
- ・会社の費用補助・手当がある

VS

## 元が取りにくい人

### 資格を活かす機会が少ない

- ・セキュリティと無関係の業務
- ・名刺・プロフに使う機会がない
- ・費用補助が全くない環境

### 判断の軸



一つでも「取れる条件」に該当すれば維持継続が合理的な選択

# 登録セキスへのキャリア活用戦略

## 転職市場での評価



### コンサルタント

年収 600 ～ 1,200 万円。入札要件に含まれるケースが多い



### セキュリティ監査

年収 550 ～ 900 万円。官公庁案件で必須条件になる場合あり

## フリーランスの単価相場



### 脆弱性評価・診断

月額 70 ～ 120 万円



### コンサルティング

月額 80 ～ 150 万円

年 2 ～ 5 万の維持費で月数十万アップ



# ● 登録継続 vs 再登録のコストを比較する



登録削除のリスク

再登録で約 2 万円 + 手続きの手間。講習サイクルもリセットされる



名称独占の希少価値

26,000 名超の国家資格。入札要件や信頼性アピールで他と差がつく



継続の合理性

迷っている段階では維持を続ける方がリスクは低く長期コストも小さい

# ● まとめ



3年間の維持費は約 13.5 ~ 16 万円（みなし受講なら約 8 万円まで圧縮可能）



特定講習・資格手当・経費計上・みなし受講の組み合わせで大幅削減できる



転職・フリーランス・社内昇進で活かせばキャリア投資として十分回収できる

## NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

